



さくらの学び舎



桜学園つくば市立さくら小学校 学校だより第5号 令和8年9月15日

自分の「やってみたい」が、みんなの幸せにつながる学校づくり

～ 心が動く瞬間を教育の原動力に ～

保護者の皆様、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今号では、災害時の対応や大切にしていきたい取組等についてお伝えいたします。

【災害等緊急時の対応について】

昨今の地震及び台風・線状降水帯の発生等で、災害等が頻発しております。保護者の皆様には、日頃より登下校時をはじめ、急な日程変更にご協力をいただいておりますこと感謝申し上げます。

- 地震発生の場合、本市をはじめ多くの自治体や学校の危機管理マニュアル（学校防災計画）等において、**震度5弱以上の場合**は、通学路の破損やブロック塀の倒壊、落石、交通インフラの麻痺などによる二次被害の危険性が高まるため、「保護者が迎えに来て引き渡すまで学校で安全に保護する」という方針（引き渡しの実施基準）が示されており、原則「**保護者引き渡し**」とさせていただきます。
- 風雪水害等で登校に不安がある場合は、遅れての登校でも遅刻とはいたしません。また、同一理由で休む場合も欠席とはせず、校長が出席しなくてもよいと認める日（出席停止・忌引等）扱いといたしますので、お子様の安全を最優先にご判断願います。

【「よく頑張ったね」の温かい一言が、次の挑戦への原動力に】

1学期も残すところ3週間余り、学期の切り替えはこれまでの歩みを振り返る大切な節目です。学校では、一人ひとりが**1学期の目標を振り返り、「何ができるようになったか」「どこに挑戦できたか」を認め称賛する大切な時期**と捉えています。もし思い通りにいかなかったことがあっても、「どうすればできるようになるか」と自分で考え、次のステップを描く力は、これからの成長に欠かせない大きな財産になることと思います。

学期末にお渡しする通知表は、お子様の成長の足あとです。ぜひご家庭でも**結果だけでなく、そこに至るまでの過程や「伸びたところ」「頑張ったところ」を大いに褒めて、認めてあげてほしい**と思います。その温かい眼差しと承認が、子どもたちの何よりの栄養となります。

2学期も、「自分のやってみたい」というワクワクする気持ちを大切に、小さな「できた」の積み重ねが大きな自信へとつながるよう、引き続き教職員一同寄り添ってまいります。

【まつりつくば「ねぶた」の寄贈】

先日、一般社団法人つくば青年会議所「まつりつくば2026」ねぶた運行実行委員会様を通じて「ねぶた」をご寄贈いただき、現在は図書館前スペースに展示しております。本場の青森県のねぶた士の手によるもので、本物の迫力に圧倒されます。実際に「まつりつくば」にて数年間活躍し、引退と同時に贈っていただいた貴重なものです。今後は、**子どもたちが間近で見て、感じたことから生まれる「問い」（心が動く瞬間）を大切に**し、探究学習へとつなげていきたいと考えています。授業参観等でご来校の際は、ぜひご覧ください。



【明かりを灯した様子】

【緑の募金】

公益社団法人茨城県森林・林業協会より、「緑の募金」（期間：～10/31）への協力依頼が届いております。これまで多くの学校で本募金の趣旨を踏まえ、子どもたちに呼びかけを行ってまいりましたが、昨今では「校内で現金を扱うことへの懸念」や「委員会活動で各クラスを回る、各学級で集める、募金箱を設置するなどの様々な実施方法における課題」が指摘されております。

そこで本校では、**子どもたちへの教育的配慮および安全・公平性の観点から、校内での現金による募金活動は実施せず**、代わりに、別紙の募金協力チラシに記載の通り、**QRコードや振込票を用いた各自での募金**とさせていただきます。趣旨をご賢察いただき、ご家庭でもお子さまと一緒に話し合っていただければ幸いです。

【図書ボランティアの皆様のご協力と学校施設の市民開放】

9月10日(木)に図書ボランティアの皆様十数名が来校され、新しく届いた学校図書のラベル張り等を中心に、新たな貸し出しに向けた準備を進めていただきました。おかげ様で蔵書も充実し、子供たちも新しい本を手取る日を心待ちにしています。**皆様の「やってみたい」というお気持ちを形にしていだけることを心から嬉しくありがたく思います。**

また、10月3日(土)より「地域と共にある学校づくりとコミュニティ形成の拠点」として、**本校施設（図書館・家庭科室・図工室・音楽室）の市民開放事業がスタート**します。市担当部局の運営のもと、気軽に本に出会える図書館では、図書の貸し出しも可能です。さらに、事前予約制となりますが、調理や工作、音楽活動など用途に合わせて上記の特別教室もご利用いただけます。お子様共々、平日は見られない週末の学校を味わってみてはいかがでしょうか。



【蔵書が充実した図書館】

緑の募金

ご協力をお願いします。

「緑の募金」運動は、緑の募金による森林整備等の推進に関する法律(平成7年法律第88号)に基づき取り組んでいます。皆様から寄せられました募金は、身のまわりの緑化から森林の整備、国際協力のボランティア活動などを支援しています。地球温暖化防止など地球環境保全資源としての森林、水の供給源として欠くことのできない森林・緑を次代に引き継ぐため、「緑の募金」運動がより多くの方々に理解され、国民的な運動と発展するよう、ご協力をお願いいたします。

皆様からいただいた募金は、県内の学校・地域の緑づくりに役立てています。

森林の整備

地域の森づくりやボランティアの森づくりを支援します。



緑化の推進

学校、公園の緑化や緑の少年団の活動を支援します。

d払い・メルペイ



b621e295-1144-4412-9240-4a5d8cd1dbd

アプリ起動して「読み取る」を選択してQRコードを読み込むと緑の募金ができます。
ご協力よろしくお願いいたします。

青少年の育成

森林整備や緑化推進の大切さを学ぶ機会を支援します。



ご応募ありがとうございました。

国土緑化運動・育樹運動標語コンクール 特選

育てよう 未来を照らす 希望の木

鉾田市立鉾田北中学校
3年 新堀 さくら

※令和8年用の育樹運動ポスターに使用されます。

令和7年度 茨城県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール

特選 茨城県知事賞

(小学校の部)

(中学校の部)

(高等学校の部)



稲敷市立沼里小学校
5年 工村 心軸



ひたちなか市立長堀小学校
6年 家中 晴悠



阿見町立朝日中学校
1年 山田 依千加



守谷市立御所ヶ丘中学校
3年 今野 真希



茨城県立笠間高等学校
1年 高梨 伶奈



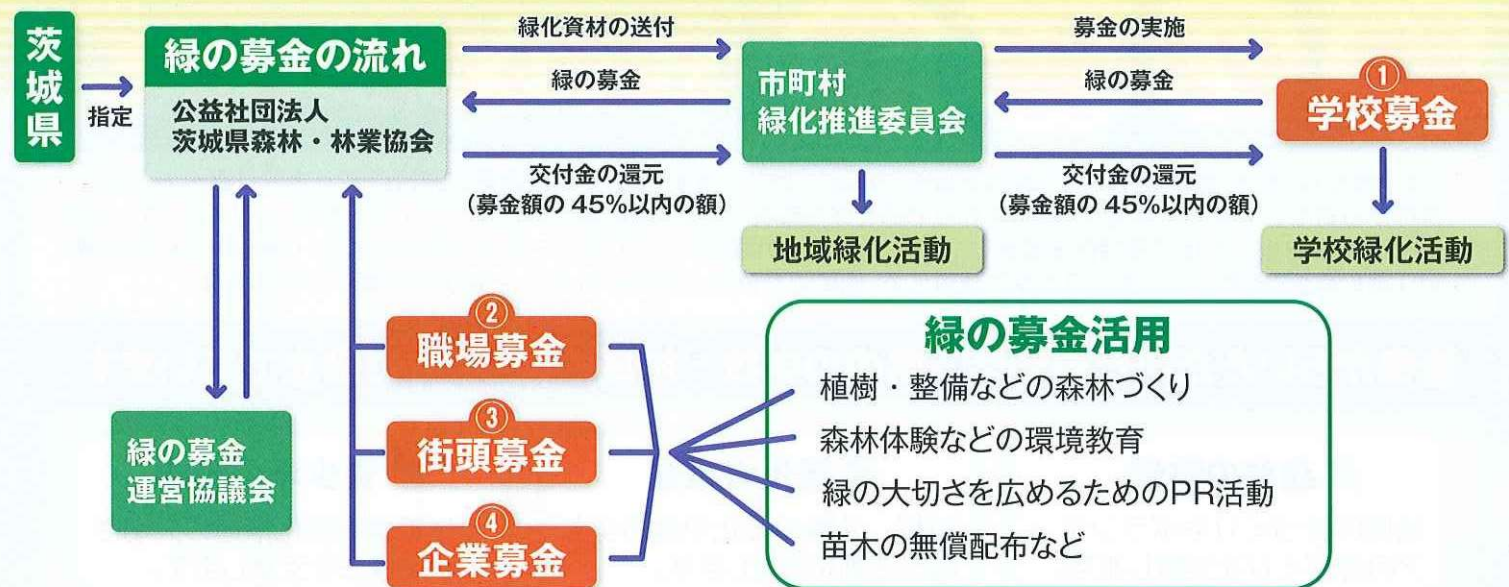
茨城県立笠間高等学校
2年 安 美優



公益社団法人 茨城県森林・林業協会

〒310-0022 水戸市梅香1-5-5 JA会館分館2階

(緑化部)TEL:029-303-2828 FAX:029-225-6847 E-mail:green@ibaraki-ringyo.or.jp



① 学校募金

緑の募金交付金と市町村の上乗せ補助金で学校花壇や校内の緑化樹の植栽



② 職場募金

職員及び顧客の社会貢献や緑化意識の向上に寄与するとともに、寄付の機会を広くご提供



③ 街頭募金

知事を先頭に関係機関や関係団体共同による普及啓発活動



④ 企業募金

企業や組合、団体のCSR活動による寄付金を原資に民有林の整備

[緑の募金]の重点実施期間(春期) 4/1 ~ 5/31 (秋期) 9/1 ~ 10/31

年間を通して、緑の募金を受け付けています。直接持参のほか、お振込ができます。ゆうちょ銀行窓口専用の払込取扱票(お振込手数料等無料)をご利用下さい。ご利用の場合は当協会あてにお申し出ください。払込取扱票をお送りします。募金のお振込に関する詳細につきましては、当協会HPでも公開しております。

URL: <https://www.ibaraki-green.or.jp/>

ゆうちょ銀行 茨城県森林・林業協会(緑の募金)※窓口専用

口座番号 (普)00240-2-99337

※ATMやゆうちょダイレクトをご利用の場合は、振込手数料が発生いたしますので、窓口をご利用ください。
窓口にてご入金頂く際に、「手数料免除の振込です。」とお声かけください。
また、ゆうちょ銀行窓口で右記の払込取扱票がございます。
こちらに振込先をご記入いただければ、そのままお振込みをすることができます。

払込取扱票										振替払込請求書兼受領証									
99 00240 2 99337										00240 2 99337									
茨城県森林・林業協会(緑の募金)										茨城県森林・林業協会(緑の募金)									
金額 対金 備考 免										金額 対金 備考 免									
日 月 年										日 月 年									
印										印									

緑の募金の優遇制度

当協会は公益社団法人に認定されているため寄付者には法人税、所得税及び個人住民税の優遇措置が受けられます。

緑の募金顕彰制度

10万円以上の寄付者に対して感謝状が贈呈されます。(法人は20万円以上)